

琉球大学学術リポジトリ

[抄録] タイランドのサトウキビ生産

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大屋, 一弘 (抄録) , Oya, Kazuhiro メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015222 |

タイランドのサトウキビ生産

(The International Sugar Journal, pp. 227—228, Aug., 1966)

タイランドの砂糖生産量は1961—62年期の15万トンから1964—65年期の31万トンに増加した。これはサトウキビ生産者及び製糖工場に対する特別基金制度と日本、台湾からの技術導入の結果である。現在タイランドの人口は約2,400万人で砂糖の国内消費量は12万トンである。製糖工場は28あり、その中3つは国営、25は民間経営である。全圧搾能力は一日25,000トンである。

サトウキビ栽培地帯：大体北、中央、東、北東の4部に分けられる。最大生産地帯は中央部及び東部である。この2地帯で全サトウキビの82%を圧搾する。タイランドには雨季と乾季があるので、乾季のかんがいに必要なダムが現在構築されつつある。サトウキビは12月～4月

に植え付けられ1年で収かくされる。株出は2～3回行なわれる。平均収量はヘクタール当り32トンである。

品種：品種試験は盛んに行なわれている。1964—65年期の主要品種は次の通りである。北部：N:Co.310, Co.281, Co.421, P.O.J.2878. 中央部：N:Co.310, Co.281, Co.421, P.O.J.2878. 東部：F.108, P.O.J.2878, Co.421, Co.419. 北東部：Co.421 Co.281, Co.419, P.O.J. 2878.

病害虫：害虫及び病気による害はそれほど重大ではないが、病気には白葉病、モザイク病、わい化病、その他がある。害虫にはメイチュウ、シロアリ、土壌害虫がある。

将来の問題：市場競争に耐えて発展するように栽培、製糖工程についての研究が糖業補助基金(Sugar Industrial Aid Fund)のもとに行なわれている。

(抄録 大屋一弘)